



高圧パッケージバーナ

スーパーパックバーナ

SP-100,200

安定した燃焼と幅広いターンドアウンのパッケージバーナ。

特長

1 安定した燃焼が得られます

特殊構造のボディと送風機の採用より、燃焼室内の圧力条件に中広に対応し、安定した燃焼が得られます。

2 送風機・バーナおよび安全燃焼機器を一体化

送風機とバーナボディ・配管が一体になっており、煩わしい現地工事を必要とせず、取付・取扱が簡単です。安全燃焼機器（ガス遮断弁・エア圧力スイッチ、紫外線光電管による炎検出など）も組み込まれています。

3 調整が容易です

燃焼調整部がパイロットライン・メインラインとも、バーナ周囲にコンパクトに配置されているため、非常に調整しやすくなっています。パイロットラインによる点火対応が可能です。

4 各種用途に合わせてバーナトップが選べます

例) 熱風発生用……SUS仕様
熱処理用……タイル仕様
金属溶解用……トップなし(炉体側に煙道)
etc.

5 幅広いターンドアウンが得られます

例) open燃焼は(弊社工場内)……20:1

6 メンテナンスが容易です

メインノズル、紫外線光電管などはバーナを炉体にセットしたままでとりはずしできますので、メンテナンスが簡単にできます。

7 フィルター付送風機

送風機はフィルター付(標準)ですので、異物の吸引を防止し、バーナを保護します。

8 制御方法は2方式

コントロールモータによるHi-Low方式と、比例(PID)方式のいずれかをお選びいただけます。



形式表

SP-	燃焼量		ガス種		バーナトップ		制御		配線方法	
	記号	選択仕様	記号	選択仕様	記号	選択仕様	記号	選択仕様	記号	選択仕様
	100	116kW	N	天然ガス(45MJ/m ³ N)	M	バーナメタルトップ付(SUS)	H	High/Low	0	配線なし
	200	233kW	P	LPガス(100MJ/m ³ N)	T	バーナタイルトップ付	P	PI(比例制御)	1	端子BOX
			O	その他	S	バーナトップ無し	O	その他		
			O	その他	O	その他				

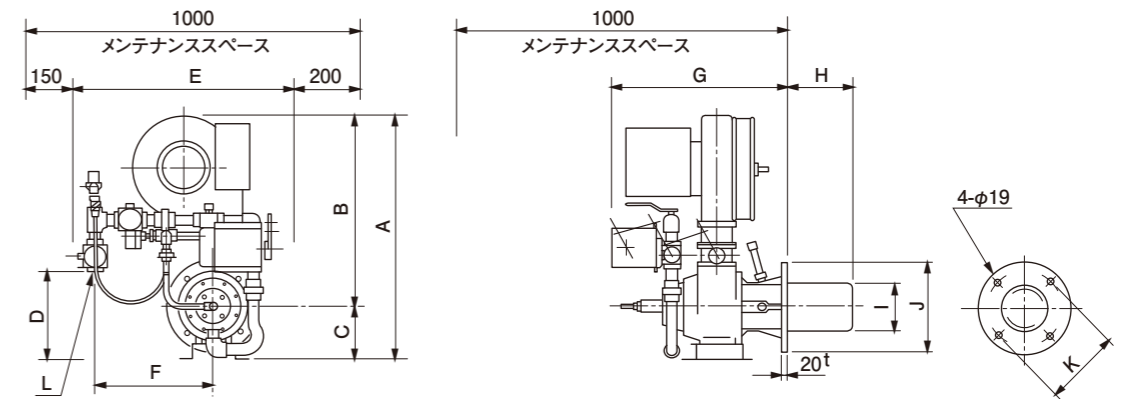
注) 本バーナの点火方式はダイレクト点火が標準です。パイロットバーナによる点火は別途相談ください。

仕様

型式	SP-100	SP-200
最大燃焼量(kW)	116	233
点火方式	ダイレクト点火	
検知方式	ウルトラビジョン	
標準仕様ガス(kPa)	2.8(2.0*)	2.8(2.0*)
最大燃焼時ガスヘッド圧(kPa)	0.73(0.5)	0.65(0.5)
消費電力 50/60Hz(W)	590/660	570/990
ガス配管接続口径	Rc 3/4(1)	Rc 1(1 1/2)
制御方式	コントロールモータによるHi/Lowまたは比例制御	
重量(kg)	52(56*)	58(62*)
電源(V)	100/200	

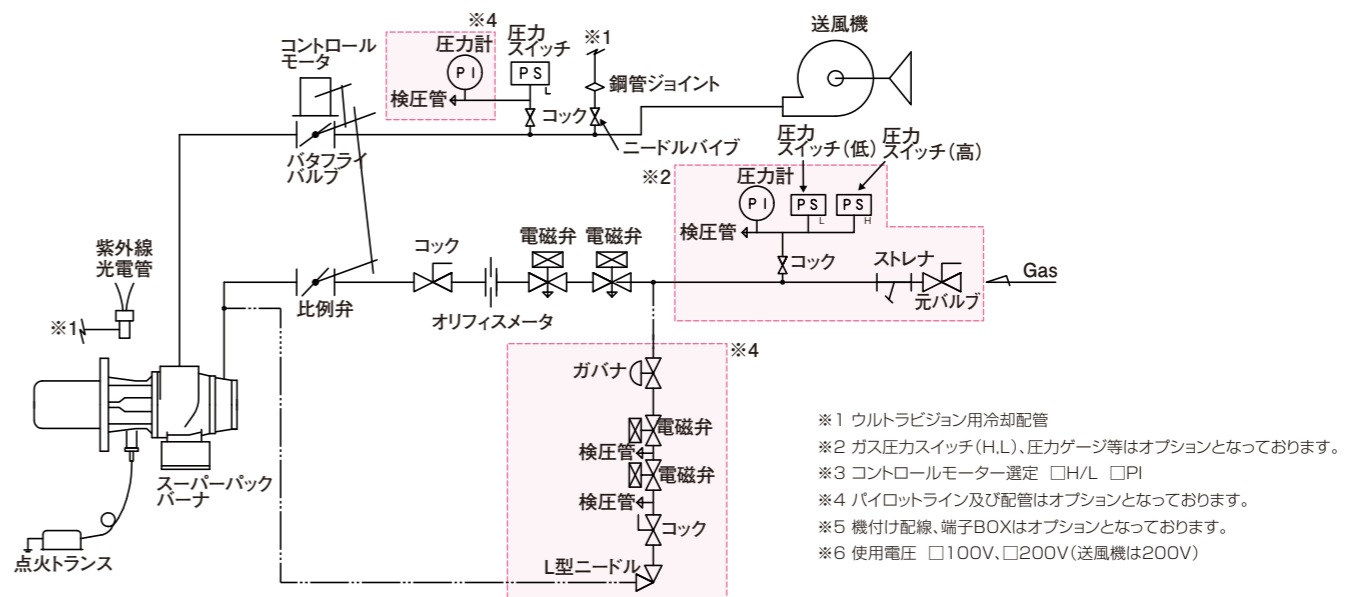
※()内は天然ガス仕様

外形寸法



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
SP-100	665	520	145	300	600	350	530	165	115	235	200	20
SP-200	750	590	160	320	600	350	550	190	140	265	230	25
										フランジ OD	フランジ PCD	ガス接続 (A)

フローシート例



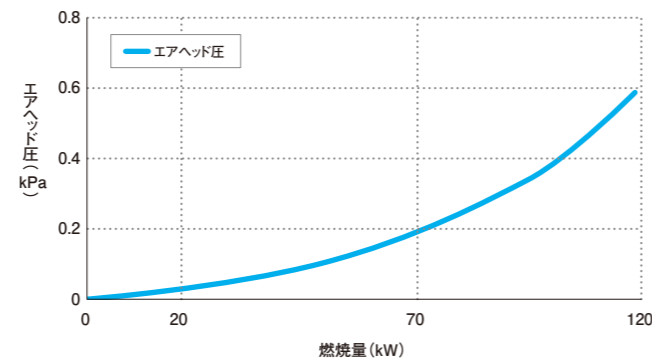
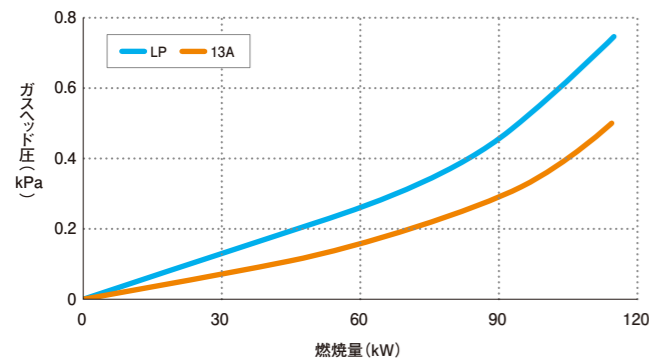
端子台表

端子BOX仕様(オプション)の場合の端子台の一例です。

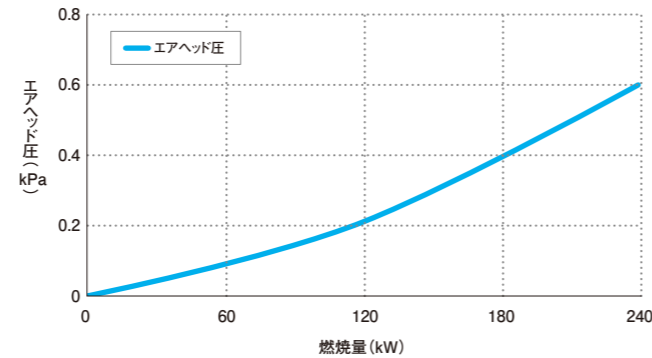
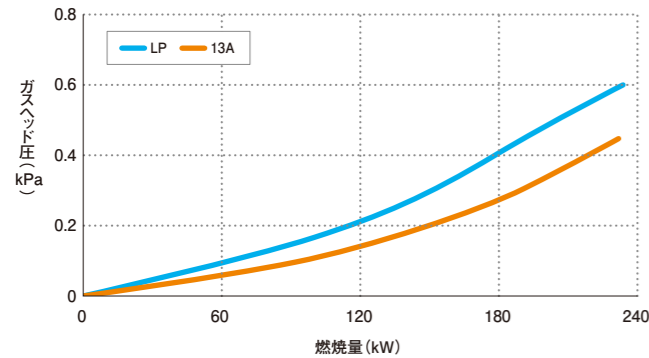
U	送風機	PS1	エア圧カスイッチ	コントロールモータ
V		PS2	ガス圧カスイッチ (オプション)	
W		PS3		
IG1	点火トランス	A2	低燃焼リミット	
IG2		C2		
GV1	ガス元電磁弁	A4	コントロールモータ	
GV2		C4	高燃焼リミット	
PV1	パイロットガス電磁弁	MC		
PV2		MH	Hi-Low駆動	
MV1	メインガス電磁弁	ML		
MV2		M1	位置比例制御	
		M2	フィールドバック抵抗	
		M3		
		F	炎検出器	
		G		

データ

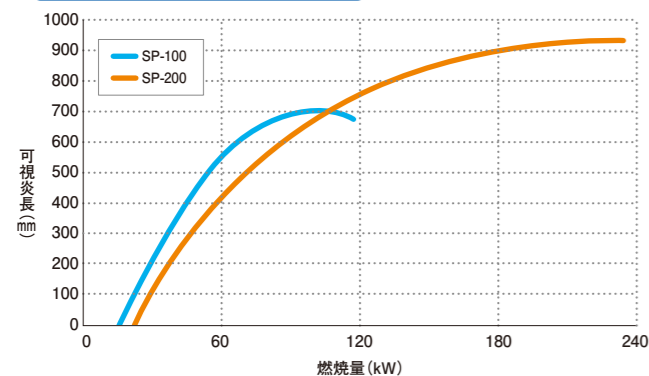
SP-100ヘッド圧 メタルトップ オープンテスト



SP-200ヘッド圧 メタルトップ オープンテスト



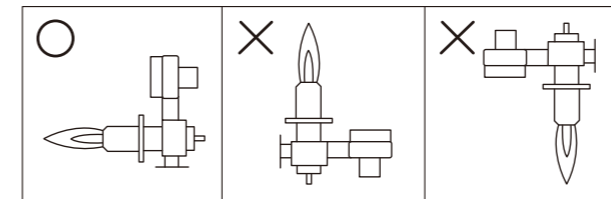
スーパーバックバーナ可視炎長 オープンテスト



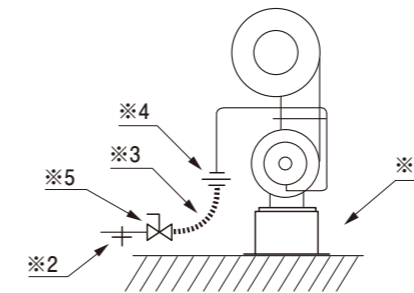
バーナ選定及び取付上の注意点

据付状況

- 送風機が、バーナ本体の上になるように取り付けて下さい。これ以外の場合は、必ず当社にご相談ください。(バーナトップが上向きと下向きの場合は、送風機の構造上不可。)



- 火災予防、またはアフターサービス上、メンテナンススペースを十分確保してください。(別紙、外形寸法図メンテナンススペース参照)



- バーナ炉壁取付フランジ以外に、本体を支持することをおすすめします。※1 (万一、炉壁が運転時に歪む場合を考慮すれば、固定はしない方が望ましい。)
- ガス一次側配管は、その荷重がバーナにかからないよう配管の支持をしてください。※2 また、上記の炉が歪む場合や、メンテナンス時のためにも、フレキシ等の伸縮部 ※3、ユニオン等の着脱部 ※4、元コック ※5 を設けてください。

フローチャートについて

- パイロットを残しメインカットする場合は、必ずLowの状態になってからカットするようにしてください。
- 電装部保護のためにも、必ずアフターパージを設けてください。

据付場所

据付場所周辺について、次のことを守ってください。

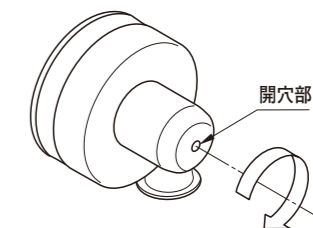
- 水や薬品がかからないこと。
- 露点気温度40℃以下で湿気が少ないこと。
- 引火性の物が近くにないこと。
- バーナ各部が足場にされないこと。

炉の構造

- バーナ炉壁、取付フランジ部の内部構造は、骨組み等しっかりしたものにしてください。
- 設置には、炎全体が見えるように必ず覗き窓を設けてください。
- 燃焼室長さは、可視炎長×1.5+αの長さを確保して設計してください。
α=諸条件による安全増分
- 炉内フレッシュエア及び循環エアの入口は、バーナ炎に直接当たらない様、内筒(パンチング)を設けるなど、処置を行ってください。

点火する前に

- 据付上の注意点が、説明書の通り守られているかどうか確かめてください。



- 送風機の回転方向を確かめてください。(上図参照)
- 各電装部の動作チェックを行ってください。また、シーケンス通りの動作が行われるか確かめてください。
- ガスラインのエア抜きを十分に行ってください。